

「新たな一歩」筆に込め

新居浜西高書道パフォーマンスG P 決勝大会へ

この瞬間、書にかける一。新居浜西高校書道部が、11日に千葉市で開催される「第5回全国高校書道パフォーマンスグランプリ（G P）」決勝大会に2年連続で出場する。大舞台を控え「見る人の心に『刺さる』書や演技をしたい」と意気込んでいる。

読もう!



心に刺さる書や演技誓う



2年連続で大舞台に挑む新居浜西高書道部

四国中央市で開かれる「書道パフォーマンス甲子園」と並ぶ大会で、イオンモールなど主催。全国11の地区大会に計101校が出場し、新居浜西は2025年11月に新居浜市であった西四国大会で連覇を果たした。2年4人、1年5人のメンバーは、話し合いを重ね「起承転結」ある書と演技を作り上げた。大字の「新」「章」は草書体と

伝統の躍動感あるパフォーマンスも特徴だ。3曲を使用し、最初は重厚感ある曲調に合わせて未来への不安、苦しさを表現。2曲目以降は、明るい力強い音楽に乗せて、笑顔や踊りを披露し、前向きに歩む気持ちを伝える。「感情移入してくれるような演技にしたい」。パフォーマンス長で副部長の間部愛加さん(16)は力を込める。

決勝大会はイオンモール幕張新都心で行われ、各地区大会の優勝や上位の14校が出場する。昨年も経験した2年生は、他校のレベルの高さを肌で感じているが、憶する気はない。本番に向け、字や演技の精度を上げるよう励んでいる。

上位入賞の栄光を追い求めるのはもちろんだが、チームにはそれ以上に目指すものがある。「皆さんが新たな一歩を踏み出せるような、心に残るパフォーマンス」(高橋さん、間部さん)をすることだ。

(月岡岳)



西四国大会で披露した作品(新居浜西高提供)